

計画の実現に向けて

1.計画の実現に向けて

(1) 各主体に期待する役割

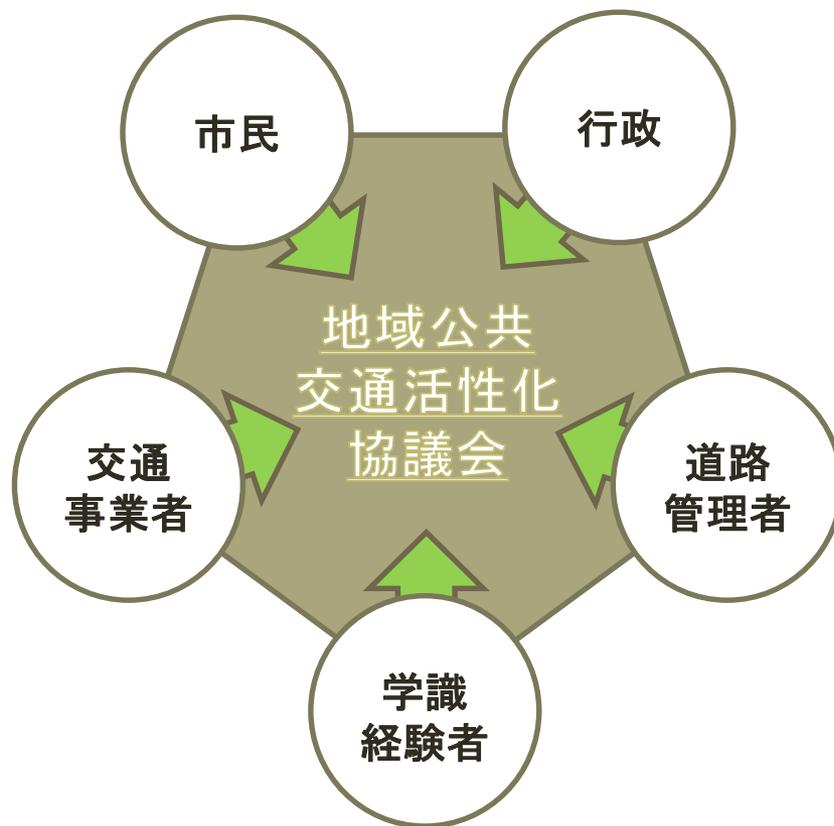
- 本計画が効果を発揮するためには、市民、行政、交通事業者、道路管理者、学識者がそれぞれの役割を果たしていくことが重要です。
- 各主体に期待する役割は以下の通りとします。

主体	役割
市民 (利用者、自治会、商工会議所、 障害者団体等各種団体)	公共交通の直接の利用者、受益者として、移動における公共交通の積極的な選択や公共交通政策の推進に対して「参画と協働」を期待します。
行政 (市、県、国)	国・県と連携を図りながら、明石市の関連部局すべての行動指針と位置づけ、市民、交通事業者等と一体となって実施に取り組むこととします。
交通事業者 (鉄道、バス、タクシー、船舶等)	市民、行政との連携のもと、本計画の推進に向けた積極的な事業展開や創意工夫を期待します。
道路管理者 (市、県、国等)	行政、交通事業者との連携のもと、本計画の推進に向けた積極的な事業展開や創意工夫を期待します。
学識経験者	アドバイザーとしての位置づけで、計画策定や進捗管理において学識経験者の第三者的な観点から計画の方向性及び具体内容について検討することを期待します。

1.計画の実現に向けて

(2) 事業推進に向けた体制構築

- 事業の推進に関わる主体は、市民、行政、交通事業者、道路管理者、学識者であり、これらの5者が地域公共交通に関する課題や目指すべき地域づくりの方向性と目標を共有し、緊密な連携を図りながら、より利用しやすい公共交通環境づくりを進めていきます。
- 「明石市地域公共交通活性化協議会」により、事業の推進、データ分析、目標達成状況の監視を図ります。



1.計画の実現に向けて

(3) 計画の定期的な見直し

○本計画の期間は原則10年ですが、固定的なものではなく、今後の社会情勢、事業の進捗状況や財政状況、事業効果などを考慮し、必要に応じて見直しを行います。

